

七月の保育

及川ふみ

暑さが日増に強くなつて来る。幼稚園の大抵のところでは七月からは保育時間が短縮されて来る。

けれども幼児たちは大人ほどには暑さを苦にしない様である。暑氣の頃の保育について各園各様の細心の心使ひがほしいものである。

一例を挙げれば、遊園に木蔭の多い幼稚園は別として、庭の一部に葦簾の日よけがあつてほしい。又

砂場の上にも日光の直射を避けるために、日よけのすだれか、へちま、朝顔なぎの蔓ものを植ゑておく事なども一方方法ではなからうか。

庭での遊びの後は汗ご砂ごで、手や顔が相當によがれる様であるからこの期の訓練の一つでも考へて、手や顔をよく洗つたり、拭ふ事の習慣をつける事が大切である。又エプロンについてるる可愛らしいハンケチでは充分に拭ふこ

事が出来ないから平常でもそうであるが夏期には出来れば手拭を一本づゝ幼稚園に持参してもらつておくさよい。

幼児のお仕事の上についても、七月上旬のうちにさほどの頃になると暑さも餘程きびしくなるから、幼稚園でのいろいろのお仕事も分量少く、又なるべく朝の涼しいうちにすませる事にしたい。木蔭の自由遊びの時間出来るだけ多くして幼児たちの満足するまで遊ばせたい。

七月七日は七夕様の行事の他に、近年この日は日支事變記念日として保育の重要な役割をもつ日である。この日は幼稚園では何れの方法によつてもよいのであるから、幼児たちに日支事變の事、出征將士への感謝、戦歿將士の慰靈なぎの精神を培ふ事に保育主眼をおくべきである。

陸海軍への恤兵の資に各家庭より廢品を持ちよりて獻金する事、慰問袋を作る事、傷病將士への慰問なき種々の方法のうち適當のものを選ぶことにすることよい。

事變關係の童話、童謡、或は人形芝居なぎも幼児たちには印象深くのこる事であらう。

第一週 七月一日——六日

月

明治神宮遙拜式（式次第前月通り）

唱歌 キラ／＼小星

自由畫

火

遊戯 汽車

水

お話 舌切雀

紙仕事 七夕様の飾りもの(茄子 胡瓜の切紙)

木

唱歌 キラ／＼小星

遊戯 汽車

金

紙仕事 七夕様の飾りもの

模造紙の色紙で色紙短冊を作り、それに毛筆にて各自

に アマノ川 タナバタサマなごの文字をかゝせる

外の飾りものは先生の方で適當に用意する

土

七夕まつり
保育室の一隅に飾り筐を立てゝ、キラ／＼小星の唱歌

事項

月 日 範例

七月十二日	六時	六時	〇分	起牀		朝晩	歯ブラシ	オーラジ	食事前の手洗	食事後の含嗽	就牀	健康状態	病氣	備考
				使	用									
○	○	○	○	○	○	朝晩	歯	オ	○	○	就	良	否	
○	×	○	×	×	○	朝晩	歯	ラ	○	○	牀	良	風	
○	○	○	×	○	×	晩	歯	ラ	○	○	就	良	邪	
○	○	○	○	○	○	晩	歯	ラ	○	○	牀	良	邪	
○	×	○	○	○	○	晩	歯	ラ	○	○	就	良	邪	
○	○	○	○	○	○	晩	歯	ラ	○	○	牀	良	邪	
七時	七時	八時	三十分	七時	三十分	八時	歯	ラ	良	否	就	良	風	
七時	三十	八時	三十	七時	三十	八時	歯	ラ	良	否	牀	良	邪	
良	な	良	な	良	な	良	歯	ラ	良	否	就	良	風	
な	し	な	し	な	し	良	歯	ラ	良	否	牀	良	邪	

その他お話、唱歌等幼児や先生なごで交る／＼にして遊ぶ、後で筐を庭に持ち出して遊ぶのもよい。

色紙 短冊のついた筐の小枝を各自持ち歸らせてよい。この七夕様の行事は地方によつて時期がちがふ事があるから適當の時にする

第二週 七月八日——十三日

月 事變記念日

事變についての訓話

人形芝居 (山名鐵雄君の出征)

この日幼兒の各家庭より古雑誌を集め恤兵の資にして

陸海軍省へ獻金する

火

紙仕事 朝顔の切紙

唱歌 朝顔

水 第一期保育期終了の集會

全園の幼兒遊戯室に集つて、唱歌、遊戯なごして遊ぶ。

この日保護者も多數集るので夏季休暇中の注意事項な
を話す。

夏季休暇中の家庭における幼児の生活のうち、ごく簡単
な記録によつて早起、早寝の良習慣をつける一助ともなる
別表なきの記入なきも参考の一つであらう。

右の表中起床、就床の時間記入、病氣の際の記入、備考
欄の何月何日何地へ轉地なきは保護者の手傳が入用である
が、その他の○×なきは出来るだけ幼児自身で記入させる
のがよい。九月になつて幼児たちがこの記入表をお土産に
登園するのも夏季休暇の一つの收穫ではなからうか。

○

今夏の文部省主催の保育講習會並に、本會主催の遊戯の
講習會に就いての委細は、本誌の廣告を御覽下さいますや
うに。

毎年のことながら文部省主催の講習會御參會の手續きに
つきまして種々お問合せや、御依頼やらがございますが、
私共では如何とも致ることが出来ませずだゞ／＼お氣の毒
に存するのでござりますが、今年はどうぞ、あの廣告にも
細々御説明申上げてござりますようにお手落ちないやうに
お願ひいたします。聞くところによりますれば、多分七月
一日頃の官報に出る由でござります。（夏季講習會係り）

幼児の作つた童謡の募集

幼稚園の毎日に、幼児が口すさむ可愛らしい創
作童謡。それは朝の露のやうなすが／＼しいもの
ですが、誰れかゞその場で掬ひとつて置かないと
消えて仕舞ひます。先生方はいつもそうした可愛
いゝ創作を耳になさるでせう。それを書きとめて
送つて下さいませんか。うまいまづいは問はず
に。

その子の年齢。姓名。出来たら、その謡が出来
た場面、前後の關係も書き添へて頂きたい。先生
のお名前と幼稚園名とも是非お知らせ下さい。短
い謡は葉書でも結構です。早速どうぞ。

その可愛いゝ詩人には、何か可愛いゝ御ほうび
を差上げたいと思つてゐます。

昭和十五年七月